

○東河川レンジャー 平成 27 年度年間活動計画

1. 活動の目的

- ・桂川下流域周辺の京都市伏見区、長岡京市、大山崎町地域の方には、桂川が身近な河川に感じられていないと思われる。
- ・桂川で実施される治水・防災の為の工事について、内容や工事実施時期などが伝わっていないと思われる。
- ・淀川河川公園の整備・管理運営について、内容などが伝わっていないと思われる。

以上の課題認識から、

桂川周辺地域の方と一緒に、身近な豊かな河川環境の現状を把握するとともに、桂川における治水・防災・公園などの整備計画の施策について学び、問題点や課題について考えていきながら、桂川を知っていただくことを活動の目的とする。

2. 活動の目標

- Step1 身近な河川の豊かな自然環境について伝える活動
 Step2 淀川河川整備計画（人と川とのつながり、治水・防災）について伝える活動
 Step3 自助・共助による防災意識を高める活動

3. 活動の概要

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）					
		試行		1期		2期	
		1	2	3	4	5～RA	
Step1 地域住民の関心を高める	①桂川環境を知り・楽しむ観察会 ・ヒメボタルなど動植物の自然観察を通じて、桂川の豊かな自然の魅力を伝える。 ②治水・防災のための整備計画を知る勉強会 ・これまでの台風などの被害状況を把握するとともに、治水・防災のための取り組みを知る。 ③治水対策工事現場見学会 ・桂川で施工されている緊急治水対策の工事現場を見学。工事の必要性や状況を知る。 ＊以上の活動と併行して、Step2 のワークショップ参加者募集を行い、活動成果とします。						継続的に実施
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	①桂川の豊かな自然環境を踏まえた適切な治水・防災工事のためのワークショップ ・治水・防災対策工事における自然環境への配慮内容などの意見交換により自然環境保護の意識の醸成を図る。 ②桂川の豊かな自然環境を踏まえた安全なまちづくりワークショップ ・マイ防災マップの作成により、自助・共助による防災意識の醸成を図る。 ＊環境配慮計画書やマイ防災マップを活動成果とします。						
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①安全なまちづくり協議会 ・ワークショップから協議会へ移行。 ・地域の自主防災組織等と連携して地域の標識等の設置などを提案していく。 ＊まちづくり協議会の設置や自治体への標識等設置の提案書を活動成果とします。						

4. 平成 27 年度活動内容

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施時期
■河川環境保全を図る活動 ・河川環境保全・再生の普及・啓発・学習・住民参加の促進 ・河川環境のモニタリング（自然観察）	桂川の豊かな自然環境を知ろう	5・6・2月
■河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動 ・淀川水系河川整備計画などの把握	桂川における河川整備計画について	9・11・1月
	桂川における治水・防災対策について	

■活動を実施していく上での課題

- ・活動への参加促進

活動のPR不足で一般参加者を多く集められなかった。

要検討：企画した活動への地域住民の参加を促す方法

桂川（淀川河川公園、桂川河川敷公園）の認知度、身近に感じられるか？、魅力はあるか？

- ・活動場所の課題

大山崎地区の淀川河川公園には、一部民地が存在するため立ち入りについて事前に許可が必要である。

長岡京市中央生涯学習センターは、利用者が多く、満室になるため、予約は、早期に行う必要がある。

■課題に対する改善点

- ・活動への参加促進

淀川河川公園利用者、長岡京市中央生涯学習センター、地元NPOなどへの活動案内の配布。

長岡京市など周辺自治体の広報誌へ掲載や公共施設への案内配布。

- ・活動場所の課題

淀川河川公園内や周辺の民地への立ち入りする活動は実施しない。

長岡京市中央生涯学習センターの予約システムを活用し、早期の会場予約に努める。

4. 1 桂川の豊かな自然環境を知ろう

(1) 活動目的

ヒメボタルやカヤネズミなどが生息する桂川の自然環境を把握し、現状の問題点と課題について考え、桂川を知っていただく。

【内容】

- ・京都府レッドデータブックで要注目種に選定されている陸生のホタルの「ヒメボタル」が見られる桂川右岸に広がる河畔林の生息環境を把握する。
- ・これまでの生息環境調査結果などを踏まえ、生態や自然特性について学ぶとともに、現状の問題点や課題などについて考え、「ヒメボタル」や「カヤネズミ」など重要な生物の保全のための方策を検討する。
- ・宇治川、木津川、小泉川などが合流する変化に富んだ豊かな自然環境について把握する。

【河川レンジャーとしての役割】

- ・地域住民が河川と係わる機会を拡大させる。
- ・地域住民との意見交換を通じて河川との関わりを定着させる。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 2 7 年	4月	
	5月	■桂川の豊かな自然環境を知ろう ヒメボタルやカヤネズミの棲む桂川ってどんなところ？ (現地：淀川河川公園大山崎地区)
	6月	■桂川の豊かな自然環境を知ろう ヒメボタル観察会（夜間） (現地：淀川河川公園大山崎地区)
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
平成 2 8 年	12月	
	1月	
	2月	■桂川の豊かな自然環境を知ろう ヒメボタルやカヤネズミの生息環境を知る (現地：淀川河川公園大山崎地区)
	3月	

(2) 連携等

- 団体との共催・他団体の活動（行事）への出展等
- 団体名（ ）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：京都市伏見区、長岡京市、大山崎町など桂川周辺地域住民
団体名（ ）
- 定員：30名

(4) 実施内容

ヒメボタルの生息地は、大山崎町（一部京都市伏見区）の桂川右岸高水敷及び小泉川にあり、毎年5月中旬～6月上旬に発生し、1～2万の個体がみられ西日本最大の生息地と思われる。

活動は、本生息地において、生息する場所の自然環境を紹介しながら、問題点、課題などについて考え、保全のための方策について考えていく。

(5) 実施日

■第1回桂川の豊かな自然環境を知ろう

ーヒメボタルやカヤネズミの棲む桂川ってどんなところ？ー

5月上旬（ヒメボタルの発生時期の昼間に実施）

■第2回桂川の豊かな自然環境を知ろう

ーヒメボタル観察会ー

5月下旬～6月上旬（ヒメボタルの発生時期の夜間 [21:00～24:00] に実施）

場所：淀川河川公園大山崎地区（桂川河畔林）

■第3回桂川の豊かな自然環境を知ろう

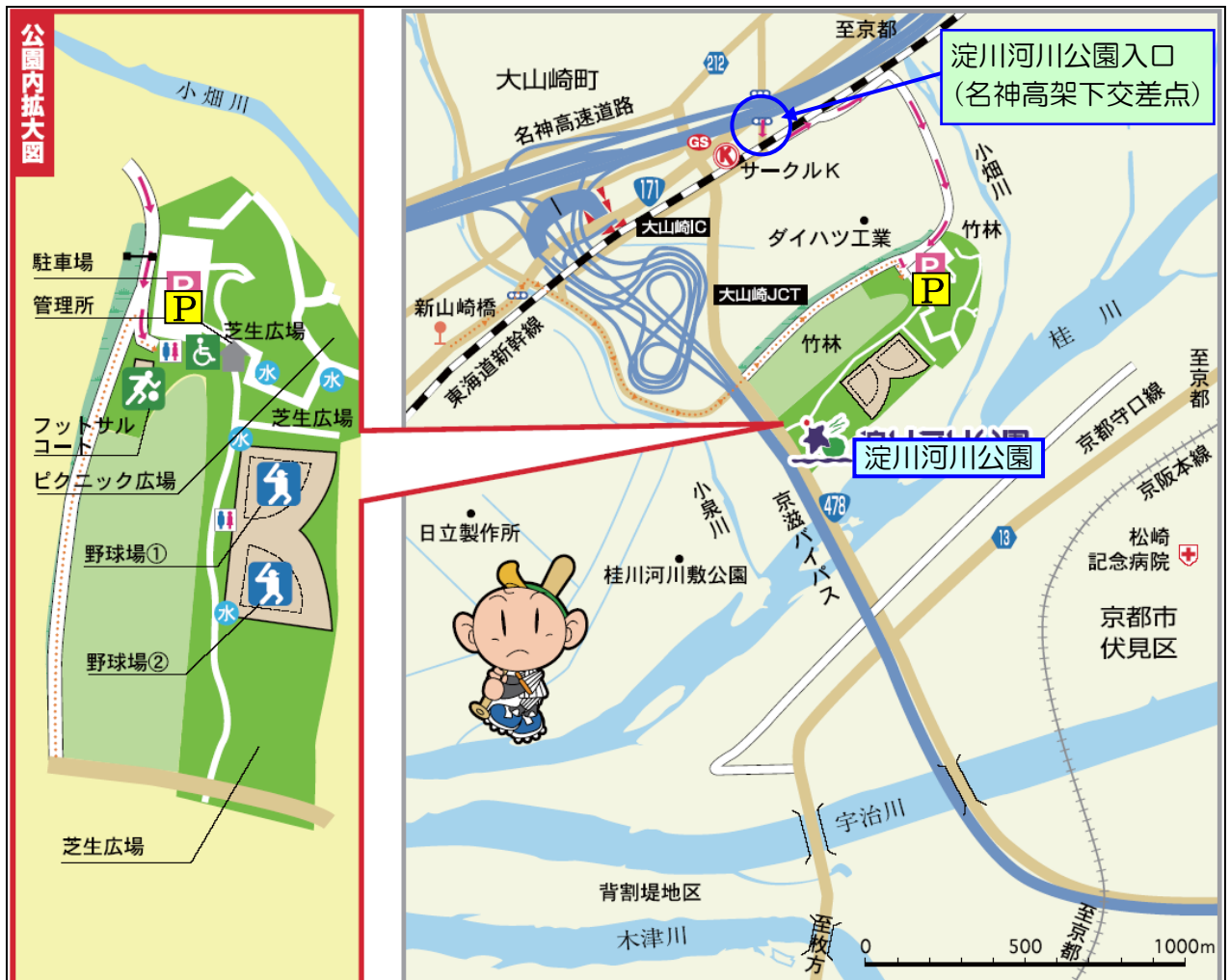
ーヒメボタルやカヤネズミの生息環境を知るー

2月下旬

毎年、実施される「桂川クリーン大作戦」後に、飛び入り参加も含め実施。

(6) 実施場所

淀川河川公園（大山崎地区：京都府乙訓郡大山崎町）および桂川河川敷公園



(7) 安全対策

「安全管理ハンドブック」(CONE自然体験活動推進協議会編)などを参考に以下の対策を講じる。

【活動前】事故が起こらないようにする取り組み

- 十分な現地踏査の実施、気象情報の把握、服装・持ち物(飲料水など)の指導
- 事故が起こった時を想定した取り組み
- 緊急時の対応の確認(救急病院、連絡先)、救急用具等の準備、保険の加入

【活動時】事故が起こらないようにする取り組み

- 危険な箇所・行動・動植物の指導、気象状況の把握(気象庁:高解像度降水ナウキャストなど活用)、人員点呼、救急用品の携行
- 事故が起こった時の迅速・的確な対応
- 事故者の救護、負傷者への対応、救助者の安全確保

【事後後】事後が起こった後の迅速・的確な対応

- 解散前に参加者に異常がないか確認、負傷者への誠意を持った対応、
- 事故報告書作成、保険の手続き

※【第2回ヒメボタル観察会】

夜間観察会であるため以下の点に留意する。

- ・観察会のコース下見は、直前まで入念に行い、危険箇所等を把握しておく。
- ・観察コースは、ムカデ、マムシ等の危険動物の生息が考えられる草地や竹林などには入らないよう設定する。基本的には、竹林の外周を回るコースで実施する。
- ・観察中は、参加者の列の前後にスタッフを配置し逸れないよう誘導する。
- ・観察コースの途中で参加者の人数を把握するとともに、観察終了後の人数確認を行う。

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

■第1回、第3回ヒメボタルの棲む桂川とは

受付、救急：3名(現地案内を兼任)

現地案内：3名(リーダー説明者：1名、誘導、人員把握、危険防止、記録：2名) 計3名
 なお、申し込み参加者数によりスタッフの人数は変更あり

【河川レンジャーとしての役割】

地域住民へ桂川の自然環境に興味を持っていただき、環境保全などの意識を向上させるとともに、河川レンジャー活動の理解を図る。

準備：参加者の募集(広報掲載、行政機関等PR)、説明資料作成、現地踏査

当日：現地準備、現地説明・案内、後片付け

■第2回ヒメボタルの棲む桂川とは —ヒメボタル観察会—【夜間活動】

受付、救急：2名

現地案内：参加者15名あたり1班、参加者30人想定で6名(2班)

1班3名：リーダー説明者1名、サブ説明者1名、

誘導、人員把握、危険防止、記録：1名)

計8名

なお、申し込み参加者数によりスタッフの人数は変更あり

【河川レンジャーとしての役割】

地域住民へ桂川の自然環境に興味を持っていただき、環境保全などの意識を向上させるとともに、河川レンジャー活動の理解を図る。

準備：参加者の募集(広報掲載、行政機関等PR)、説明資料作成、現地踏査

淀川河川公園(大山崎地区)入口の鍵の借用

当日：現地準備、現地説明・案内、後片付け

(9) 広報・募集方法

- ・長岡京市広報誌、大山崎町広報誌などに掲載する。
- ・長岡京市生涯学習センターなどの公共施設に掲示する。
- ・阪急大山崎駅および西山天王山駅、JR山崎駅および長岡京駅などで掲示する。
- ・淀川河川公園（大山崎地区）、桂川河川敷公園利用者への活動チラシの配布。

(10) 必要支援内容

- ・河川レンジャー事務局
動植物の専門家の紹介：現地で見られる動植物の専門的な解説を行う。
活動案内パンフレットおよび現地配布資料の印刷
必要物品貸与（救急セット、フリーマイク、河川レンジャーのぼりなど）
傷害保険の加入手続き
- ・周辺自治体
広報支援：広報誌への掲載、役場や公共施設への活動案内パンフレットの配布など

※【第2回ヒメボタル観察会】

- ・淀川河川事務所（山崎出張所）
夜間、淀川河川公園（大山崎地区）へ車で立ち入るため、公園出入り口の鍵を借用。

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・各活動の計画準備（現地踏査、地元自治体やNPO等への協力依頼や調整など）運営を行う。
- ・広報活動、活動報告書の作成など。

(12) その他

4. 2 桂川における河川整備計画および治水・防災対策について

(1) 活動目的

桂川で実施されている治水・防災のための整備計画や河川公園整備・管理運営の内容を伝え、理解・協力を得る。

【内容】

- ・淀川河川整備計画に基づき桂川で実施されている内容について学び、意見交換を通じて理解・協力を得る。
- ・野球、バーベキューなどで多くの人の利用がある淀川河川公園（大山崎地区）の整備・管理運営について学び、問題点や課題などについて考え、身近な河川を認識してもらう。
- ・桂川緊急治水対策の内容について学び、動植物の重要種などの情報交換を通じて理解・協力を得る。

【河川レンジャーとしての役割】

- ・地域住民へわかりやすく河川整備計画などの施策を伝え、理解を深める。
- ・地域住民との意見交換を通じて河川との関わりを定着させる。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 2 7 年	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	■桂川における河川整備計画および治水・防災対策について (長岡京市中央生涯学習センター)
	10月	
	11月	■桂川における河川整備計画および治水・防災対策について (現地：淀川河川公園大山崎地区)
	12月	
平成 2 8 年	1月	■桂川における河川整備計画および治水・防災対策について (長岡京市中央生涯学習センター)
	2月	
	3月	

(2) 連携等

- 団体との共催・他団体の活動（行事）への出展等
- 団体名（ ）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：京都市伏見区、長岡京市、大山崎町など桂川周辺地域住民
団体名（ ）
- 定員：30名

(4) 実施内容

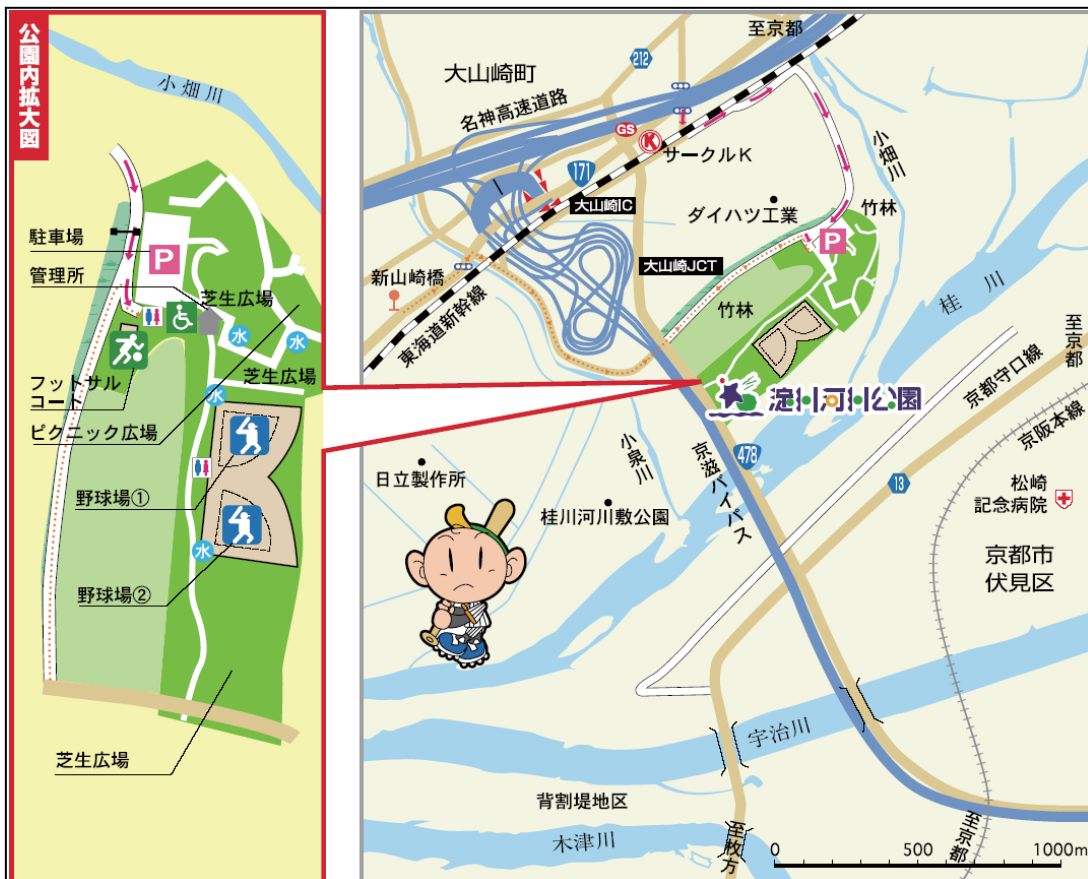
淀川河川整備計画に基づき桂川で実施されている内容や淀川河川公園（大山崎地区）の整備・管理運営および桂川緊急治水対策について学び、意見交換を通じて理解・協力を得る。

(5) 実施日

9月下旬、11月下旬および1月中旬

(6) 実施場所

- ・長岡京市中央生涯学習センター（学習室）



(7) 安全対策

「安全管理ハンドブック」(CONE自然体験活動推進協議会編)などを参考に以下の対策を講じる。

【活動前】事故が起こらないようにする取り組み

→十分な現地踏査の実施、気象情報の把握、服装・持ち物(飲料水など)の指導

事故が起こった時を想定した取り組み

→緊急時の対応の確認(救急病院、連絡先)、救急用具等の準備、保険の加入

【活動時】事故が起こらないようにする取り組み

→危険な箇所・行動・動植物の指導、気象状況の把握(気象庁:高解像度降水ナウキャストなど活用)、人員点呼、救急用品の携行

事故が起こった時の迅速・的確な対応

→事故者の救護、負傷者への対応、救助者の安全確保

【事後後】事後が起こった後の迅速・的確な対応

→解散前に参加者に異常がないか確認、負傷者への誠意を持った対応、
事故報告書作成、保険の手続き

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

■第1回、第2回、第3回桂川における河川整備計画などについて

受付:2名

現地案内:2名(リーダー、説明者:1名、人員把握、記録など:1名) 計2名

【河川レンジャーとしての役割】

地域住民へ桂川で実施されている河川整備計画を理解いただき、河川との関わりを向上させるとともに、河川レンジャー活動の理解を図る。

準備:参加者の募集(広報掲載、行政機関等PR)、説明資料作成

当日:現地準備、説明、後片付け

(9) 広報・募集方法

- ・長岡京市広報誌、大山崎町広報誌などに掲載する。
- ・長岡京市生涯学習センターなどの公共施設に掲示する。
- ・阪急大山崎駅および西山天王山駅、JR山崎駅および長岡京駅などで掲示する。
- ・淀川河川公園(大山崎地区)、桂川河川敷公園利用者への活動チラシの配布。

(10) 必要支援内容

- ・淀川河川事務所(山崎出張所)
淀川河川整備計画や桂川緊急治水対策など説明者の紹介
:淀川河川整備計画や公園整備、桂川緊急治水対策などの解説を行う。
- ・河川レンジャー事務局
活動案内パンフレットおよび配布資料の印刷
傷害保険の加入手続き
- ・周辺自治体
広報支援:広報誌への掲載、役場や公共施設への活動案内パンフレットの配布など

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・各活動の計画準備(現地踏査、地元自治体やNPO等への協力依頼や調整など)運営を行う。
- ・広報活動、活動報告書の作成など。

(12) その他